

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マインドフルキッズ			
○保護者評価実施期間	2024年 04月 01日		～	2024年 05月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2024年 04月 01日		～	2024年 05月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人ひとりの発達に合わせた個別支援計画に基づき、それぞれの課題を遊びの中で楽しく取り組める事ができています。	支援開始前には打ち合わせを行い、1人ひとりの重点、課題、支援内容、好きな遊びを共有しています。支援終了後に振り返り次回へ繋げています。	取り組みを継続して行う事で今後の支援の重質を図っていきます。
2	療育の質を上げる為、事業所内外の研修を積極的に数多く実施しています。	内外の研修に参加する他系列事業所間で事例に対する意見交換を積極的に行っています。	職員の知識を深めより良い支援につなげていきます。
3	系列保育園での交流、就園体験ができます。	支援内容に合わせて個別、最小集団、小集団を経験出来る環境を整えています。	系列保育園で交流できる機会をより多くもてる取り組みを始めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段が急で少し怖いところです。	混雑時の他、ご弟妹や祖父母が送迎の場合の危険性があるのではないかと事です。	手すり（大人・子ども用）を設置しています。混雑を避けるために一人ずつ送り出す為の工夫を引き続き行います。
2	セッション後に支援員とお話できる時間が無い事です。	お迎え時の報告等は子どもの切り替えを優先し最小限としています。又、混雑を避ける為、スムーズな降所をお願いしています。	月1回程度、お子様の様子や成長、家庭での様子、今後の支援について詳しくお伝えする家族支援（面談）を行っています。必要に応じて他にも随時面談を行っています。
3	未就学児のみ対象なのが残念とのお声をいただいています。	就学前のお子様の支援に特化した事業所の為です。	就学に伴い卒所する利用児が引き続き安心できる場として放課後デイサービス開始を検討しています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	マインドフルキッズ
------	-----------

公表日 2024年 05月 10日

利用児童数10 2024年 05月 10日

回収数 9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		訓練室は個別の支援計画により配置を変えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	89%	0%	0%	11%		常勤保育士3名、非常勤職員3名、運転手2名配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	89%	11%	0%	0%	階段が急で少し怖い。いつもきれいでセッションごとに違った楽しみ方が出来るようお部屋が作られています。一目見て、子どもも高揚感とともにワクワクお部屋に飛び込んで行きます。	階段には大人用と別に子どもの高さに合わせた手すりを設置しております。安全にご留意頂いているおかげで現在のところ階段での怪我はありません。事業所が2階であるためご不便をおかけいたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	清潔感があり、明るい室内で子どもが入りやすい。	毎朝清掃、整頓を心掛けています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	細やかに聞き取りをしてもらい、計画的に取り入れてもらえている。	保護者を通じて利用時の状況とニーズを把握したうえで支援担当職員が観察の上、希望に応じて変更を行います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	先生方は、子どもと親の私達の心配事をしっかりと聞いて下さり、その上で先生方から見てサポートしていくべき点も伝えて下さいます。支援計画表に沿って毎回のセッション内容をラインで共有して下さり把握しやすいです。	支援計画は、ガイドラインに沿って立案し、全ての取り組みを各児、個別支援計画に基づいて行っています。支援内容により個別のベビーサインや微細課題から小集団での遊び方の練習や他児とのコミュニケーションのとり方など幅広く対応しています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	支援計画表に沿って毎回のセッション内容をラインで共有して下さり把握しやすいです。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	89%	0%	0%	11%	色々なプログラムで子どもがとても楽しんでる。	セッションごとにレイアウトや教材を変更し、お子様に合うプログラムになるよう工夫しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	56%	11%	0%	33%	個人で幼稚園との交流（通園）はあるが事業所からは無い。無くて良い。	系列保育園と併用利用児について情報交換する為の関係連携会議を行っています。遊戯場所として指定しており就園体験も行っています。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	面談の際にご丁寧に説明いただきました。	療育内容はガイドラインに沿っており、できるだけわかりやすく説明できるように努めて参ります。暖かいお言葉を頂戴し、ありがとうございます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	面談の際にいつも分かりやすく説明いただきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	67%	11%	0%	22%	相談支援は定期的にあるがその機会以外にはない。でも不満には思わない。状況によってどの様な言葉かけや行動が適切かを具体的にアドバイスしてくださり助かっています。親の視点では気付けない部分を沢山見つけて教えてもらっています。	大変うれしいお言葉を頂きありがとうございます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	89%	11%	0%	0%	1か月に1回の面談はあるが、日々成長しているのもう少し話し出来たらなあと思います。	今後とも相談支援（家族支援）のお時間でしっかりと支援方法をお伝えしていきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。					親身になって聞いてもらえるため、より安心できる。	およそ6～8回のセッションにつき1回の頻度で相談支援の日を設定しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22%	11%	44%	11%	保護者会などが無い。あるなら参加したい。	今後の参考にさせていただきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%		相談支援でお伺いいたします。また、苦情については、苦情マニュアルに沿ってご対応させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	78%	11%	0%	11%	Instagramでの発信はあるが自己評価の結果の発信は無い。できたらもっと更新してもらいたい。療育記録はラインで共有して下さっています。	自己評価はHPと玄関掲示にて公表致します。前年度分は堺市HPで確認して頂けます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	89%	0%	0%	11%		マニュアルは契約時にご説明させていただいています。ご希望があればいつでも確認して頂けます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	67%	0%	0%	33%		避難訓練は1回/月行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89%	0%	0%	11%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	67%	0%	0%	33%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	毎回楽しみにしていて嬉しいです。これからも通いたいです。週二回の通所をカレンダーを見ながら心待ちにしています。行くのを楽しみにしていて気分が嫌がった事など一度もないくらい好きなようです。ありがとうございます。特性を捉えてもらえていること、楽しんで通えるよう工夫してもらっていることがよく伝わる。	大変うれしいお言葉をたくさん頂きありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。						
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	満足しています。幼児のみ対象なのが残念です。大変満足しています。先生方に親子共々支えてもらっています。頼りにさせていただいています。今後ともよろしく願いいたします。どんな姿もうけいれてもらえ、信頼関係がしっかりとあるからこそ、毎回楽しめているのだと感じる。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		マインドフルキッズ					公表日		2024年 05月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	シフト確定後も適切に日々確認している。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	子どもが手に取れる位置に手すりを設置しています。訓練室は棚で仕切り、視覚的に活動するスペースが分かりやすいように工夫している。	2階に事業所があるため階段の上り下りが不便で危険と感じられる方もおられます。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃、及び子どもにあわせてそれぞれの活動に応じた空間づくりを都度行っている。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。								
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	自己評価は会社HPと集計後に1か月間玄関に掲示致します。前年度分は堺市HPで確認いただけます。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。								
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	療育の資質をあげるため、常に事業所内外の研修を実施している。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%						
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%						

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援実施前には、担当職員全員で各利用児の重点支援を確認している。その日の支援内容、役割、子どもの情報共有をするための打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後に振り返りを行い、次回の支援につなげるようにしている。全職員が共有出来るよう個々の支援ノートにセッションで気付いた事等を記載している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	33%	67%	サービス担当者会議未実施	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	基幹支援センターの方々と連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17%	83%	保護者からの依頼があれば積極的に行ってきたい。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	100%	0%	系列事業所と連携している。堺市育成事業に申込み、3回/年訪問し助言を頂いている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	系列園での就園体験を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	家族支援の面談でお伝えしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83%	17%		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		要望があれば開催したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	個別でライン送信している。インスタ、ブログで発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	1回/月行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	保護者からの聞き取りシートにより対応している。アレルギーのある子どもが利用しない日でも安全確保の為、アレルギー反応のあるものは使用しないようにしている。（例：小麦粉粘土）安全に配慮し教材を提供している。事前にアレルギーを含めたヒヤリングの確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	67%	33%	食事の提供はしていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	社員全体研修を2回/年実施している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	67%	0%	身体拘束等の適正化の為の指針に基づいて行っている。	